はやま通信

≪学校だより　NO. 7≫
２０２６年 ９月２８日発行
栗東市立葉山小学校
児童数３４１名(9/18 現在)

教育目標　はっきり話し、しっかり学ぶ　葉山っ子　やさしさあふれる　葉山っ子　まいにち元気な　葉山っ子
重点目標　学ぶ楽しさを実感し、自分や仲間を認め、ともに伸びようとする子の育成
～「できた・わかった・役に立った」を自信に、自分を高める はやまっ子～

移り変わる学校教育

現在、文部科学省では、2030年度ごろにある次の学習指導要領の改訂に向けて検討を進めています。

そもそも学習指導要領とは？

学習指導要領は、全国の子どもたちが一定の水準の教育を受けられるように国が定める基準です。各学校の授業内容や教科書づくりのもとになります。社会の変化に対応できるよう約10年ごとに見直されています。

今回の改訂で大切にされていること

① 「知識を覚える」だけでなく、「活用する力」を育てる

今後は学んだことを使って課題解決したり、自分で考えて行動したりする力がより重要になります。

② デジタル社会を生きる力を伸ばす

１人１台端末が当たり前となった今、パソコンやタブレットを文房具のように使いこなしながら学ぶことが重視されています。生成AI との付き合い方についても検討されています。

③ 一人ひとりに合った学びを進める

子どもの理解度や興味に合わせて学ぶ「**個別最適な学び**」と、友達と話し合ったり協力したりしながら学ぶ「**協働的な学び**」。これらを組み合わせて、誰もが学びやすい学校を目指しています。

④ 子どもも先生も「余裕」を持てる学校へ

現在、授業内容が多く、教員の負担が大きいことも課題となっています。そこで【学習内容を整理する】【学校ごとに時間の使い方を工夫できるようにする】【「教える量」より「学びの質」を高める】といった方向が検討されています。

保護者として知っておいていただきたいこと

今後は、【正解を覚える力だけでなく自分で考える力】【デジタル機器を適切に使う力】【人と協力する力】【自分の興味や得意を伸ばす力】がこれまで以上に重視されそうです。ご家庭では、【子どもの「なぜ？」を大切にする】【調べ学習や読書を応援する】【タブレットやスマートフォンを学びにも活用する】ことが、これからますます重要になりそうです。「知識を身に付けること」と「自分で考え行動すること」の両方を大切にしながら、子どもたちが変化の大きい社会を生き抜く力を育てることが、今回の改訂の大きなねらいです。

このような国が定める基準や方針に沿って、県や市の施策が講じられ、本校においても、取組内容や方法を検討していくこととなります。





環境委員会がきれいな学校をつくることを目的に話し合い、委員長が電話で注文した花の苗をプランターに植える活動をしました。玄関前がきれいになりました。

（苗代は PTA からいただいています。ありがとうございます。）